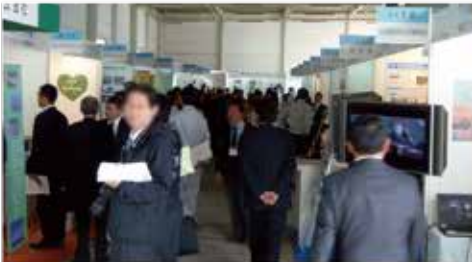


建設技術フェア

kensetsu gijutsu fair
2013 in 中部

出展・
開催の
ご案内



会期

2013年 10月24日(木)
10:00~17:00

10月25日(金)
10:00~16:00

会場

吹上ホール (名古屋市中小企業振興会館)

■主催：建設技術フェアin中部実行委員会

お問合せ

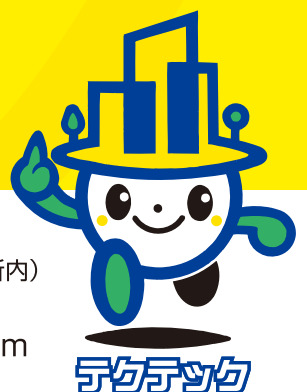
建設技術フェア in 中部実行委員会 事務局

〒461-0047 名古屋市東区大幸南 1-1-15 (国土交通省 中部地方整備局 中部技術事務所内)

TEL 052-723-5704 FAX 052-723-5790

E-mail info@kgfair-chubu.com URL <http://www.kgfair-chubu.com>

⚠️ 今回よりメールアドレス・ホームページアドレスが変わりました。



開催にあたって

建設分野における新技術・新工法などの展示・実演を行う展示会「建設技術フェア in 中部」もおかげさまで17年目を迎える運びとなりました。これまでの開催にあたりましては、ひとかたならぬご協力ご尽力をいただき、心より厚く御礼申し上げます。

建設技術フェア in 中部は、産学官の技術情報交流の場を提供し、技術開発や新技術導入の促進を図るとともに、建設分野を専攻している学生に技術開発の現状と今後の方向性を伝え、建設技術の魅力と社会資本整備の必要性を広く一般の方々へ紹介することを目的として開催しております。来場者数が前回開催で7,000名を超えるなど、年々本フェアに対する期待が高まっているところですが、今回は会場を全天候で対応出来る展示会場に移し、また前回以上の主催者企画を予定しており、来場者数の更なる増加が期待されるところです。

ぜひ皆様の技術を本フェアでご展示いただけますようご検討をお願い申し上げます。

また、同時に皆様の多数のご来場を心よりお待ちしております。

建設技術フェア in 中部実行委員長
(国土交通省 中部地方整備局 企画部長)

田村 秀夫

開催概要

名称

建設技術フェア 2013in 中部

主催

建設技術フェアin中部実行委員会 (40団体)

国土交通省中部地方整備局、農林水産省東海農政局、経済産業省中部経済産業局、長野県、岐阜県、静岡県、愛知県、三重県、名古屋市、静岡市、浜松市、日本下水道事業団東海総合事務所、(独)水資源機構中部支社、名古屋高速道路公社、中日本高速道路(株)名古屋支社、(公社)土木学会中部支部、(公社)地盤工学会中部支部、(一社)日本建設業連合会中部支部、(一社)日本道路建設業協会中部支部、(一社)日本建設機械施工協会中部支部、(一社)愛知県建設業協会、(一社)岐阜県建設業協会、(一社)三重県建設業協会、(一社)静岡県建設業協会、(一社)中部地域づくり協会、(一社)建設コンサルタンツ協会中部支部、(一社)日本橋梁建設協会中部事務所、(一社)プレストレスト・コンクリート建設業協会中部支部、(公社)全国土木コンクリートブロック協会中部技術委員会、(一社)日本埋立浚渫協会中部支部、(公社)日本道路協会中部ブロック、(一財)経済調査会中部支部、(一財)建設物価調査会中部支部、(一財)先端建設技術センター中部センター、(一財)日本建設情報総合センター中部地方センター、(一財)橋梁調査会中部支部、全国コンクリート製品協会中部ブロック、全国ヒューム管協会中部支部、全国ボックスカルバート協会中部支部、日本PCボックスカルバート製品協会中部北陸支部

後援(予定)

愛知県教育委員会、名古屋市教育委員会、(一社)中部経済連合会、名古屋商工会議所、名古屋国際見本市委員会、NHK名古屋放送局、東海テレビ放送、中京テレビ放送(株)、中部日本放送、テレビ愛知、中日新聞社、日刊建設工業新聞社、日刊建設通信新聞社、日刊建設産業新聞社、建通新聞社、中部経済新聞社、静岡新聞・静岡放送、伊勢新聞社、FM AICHI

開催期間

2013年 10月24日(木) 10:00~17:00 ▶ 25日(金) 10:00~16:00

会場

吹上ホール(名古屋市中小企業振興会館)

名古屋市千種区吹上二丁目6番3号



展示規模

200小間(目標)

来場者数

10,000人(目標)

入場料

無料

主催者企画

特別講演会 「巨大自然災害発生!その時私は何ができる(仮題)」

岐阜大学 高木 朗義 教授



その他、「学生相談・災害対策用車両展示・起震車等による災害学習体験」などを予定

CPD認定プログラム取得予定(建設系CPD協議会加盟団体)

開催テーマ

メインテーマ

「豊かで安全な暮らしと環境の調和をめざして」

サブテーマ

- ・最新の防災、減災技術で自然災害からあなたを守ります
- ・インフラ施設の点検、維持管理技術が安全な暮らしを支えます

コンセプト

「建設技術フェア 2013 in 中部」は、産・学・官の技術情報交流の場を提供し、技術開発や新技術の導入を図るとともに、建設分野を専攻している学生に技術開発の現状と今後の方向性を伝え、また、建設技術の魅力と社会資本整備の必要性を広く一般の方々へ紹介します。

開催目的

- (1) 産・学・官の技術交流の場を提供し、技術開発や新技術導入の促進に資する。
- (2) 建設分野を専攻している学生に技術開発の現状と方向性を紹介する。
- (3) 建設技術の魅力と社会資本整備の必要性を広く一般の方々へ紹介する。
- (4) 災害対策、社会資本整備と維持管理に貢献する新技術を広く一般の方々へ紹介する。

出展募集技術

防災・災害対策

地震・津波、風水害、土砂災害、雪害等自然災害等の対策のための工法や資機材・製品・システム・ソフト、災害対策用の資機材、応急復旧のための工法や資材、被害軽減や防災教育等にかかわる資機材やシステム・ソフトなど

維持管理・長寿命化

点検用機材、点検・診断方法やシステム・ソフト、維持管理用の資機材、長寿命化のための設計法、工法、材料など

コスト縮減

工事費縮減、ライフサイクルコスト縮減に有効な工法、材料、資機材、システム・ソフトなど

環境・リサイクル

環境保全・建設副産物リサイクルのための材料、工法、設計法、環境改善に有効な資機材、環境測定方法や機材、システム・ソフトなど
※リサイクル分野については、建設副産物リサイクル広報推進会議と同時開催予定

施工

工期短縮、安全性向上、品質向上などに有効な工法、設計法、施工機械、材料、製品、システム・ソフトなど

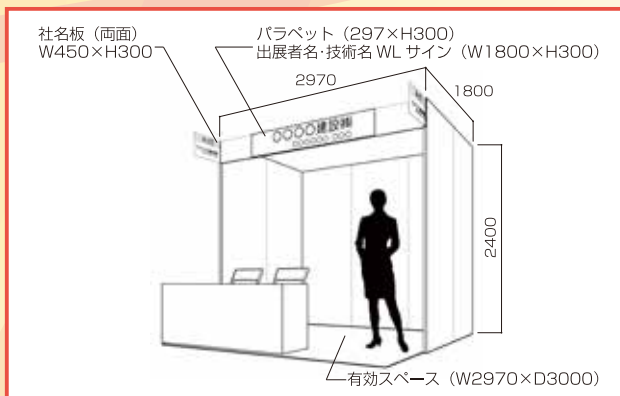
■会場レイアウトは上記5つの募集技術によるゾーン分けを行います。

プレゼンテーション

出展者による「出展技術プレゼンテーション」を行います。発表時間は質疑応答を含め約15分程度を予定しております。開催場所については展示会場内（吹上ホール内）に特設会場を設けます。申込み希望者は出展申込書の「希望する」を選択してください。なお、出展技術プレゼンテーションのみの参加はできません。

出展形態と出展料金

| | 小間出展（屋内展示） | 土間出展（屋外展示） |
|--------|--|--|
| ブースサイズ | W3000×D3000×H2400(mm)9㎡ | |
| 出展料 | 1小間あたり 230,000円(税込) | 1㎡あたり 10,000円(税込) |
| 基本セット | 間仕切り・後壁 (白色木工パネルを使用) パラベット (出展分野別に色分けする) 社名板1枚 蛍光灯2灯 テーブル白布付き1本 (W1500×D600×H700) パイプイス2脚 電気幹線工事(1kwまで) ※電気使用料含む | 自立式社名板 電気幹線工事(1kwまで) ※電気使用料含む スペースのみのお渡しとなります。 展示場所は「屋内出展横の吹上ホール 専用荷捌きエリア」を予定しています。 |



- ・小間出展は2小間以上のお申込みをお受けすることができます。
- ・小間出展、土間出展共に申込み数に限りがございますのでご希望に沿えない場合がございます。
- ・屋外出展は屋内展示が困難な展示内容をご希望の方のみ対象となります。(建設機械・車両等)

前回(2012年)の開催状況

会場風景



◀会場内全景



▲防災学習体験コーナー



▲相談コーナー全景



▲講演風景

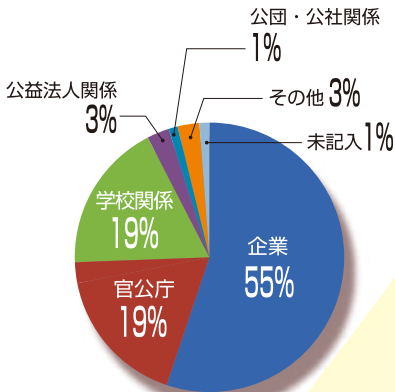


▲屋内会場

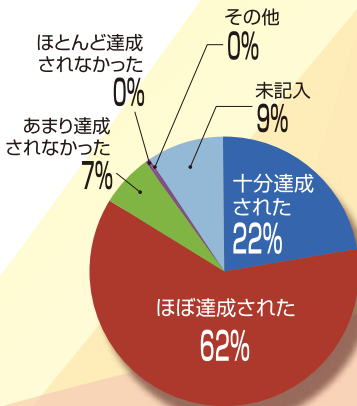


▲屋外会場

来場者アンケート結果



職業



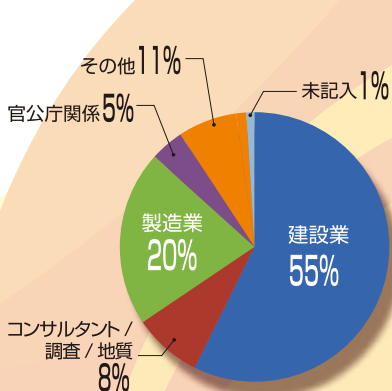
満足度

来場者数

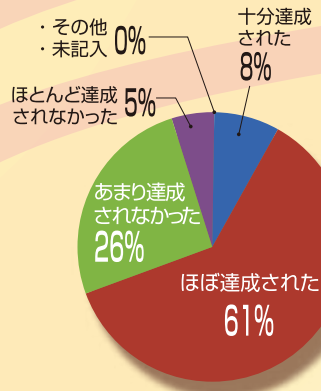
| 来場者内訳 | 企業 | 学校 | 官公庁 | 一般 | 合計 |
|-----------|------|------|------|-----|------|
| 25日(木) 晴れ | 2565 | 524 | 585 | 221 | 3895 |
| 26日(金) 晴れ | 1842 | 560 | 643 | 285 | 3330 |
| 合計 | 4407 | 1084 | 1228 | 506 | 7225 |

(単位:人)

出展者アンケート結果 (145 技術・138 者 出展)



業種



満足度

分野別出展技術数 (145 出展技術について集計)

| 分野 | 出展技術数 | 分野 | 出展技術数 |
|-----------|-------|--------------|-------|
| A 道路分野 | 57 | F 環境・リサイクル分野 | 9 |
| B 河川分野 | 5 | G 公園・緑化分野 | 1 |
| C 港湾・空港分野 | 4 | H 安全・防災分野 | 29 |
| D 下水道分野 | 3 | I 共通分野 | 27 |
| E ICT 分野 | 10 | | |